

緑山

第3回学校運営協議会を開催しました。

2月17日(火)本年度第3回目の学校運営協議会を開催しました。最初に校長より、3学期の学校の様子や生徒の活動状況をお知らせしました。1月の地震による校舎の被害状況や2月の大雪による臨時休業への対応などをお話しました。多くの生徒たちは、毎日の授業や部活動、そして受験等に落ち着いて取り組んでいることもお伝えしました。

後半は、12月に実施した「令和7年度学校評価」の結果について協議しました。校長より結果概要の説明を行うとともに、教職員による分析及び今後の取組方針をお伝えし、各委員のみなさんよりご意見やご感想を伺いました。今回いただいたご意見は、来年度の学校運営に活かしていきたいと思えます。

各委員の皆様には1年間たいへんお世話になりました。ありがとうございました。



ゆうあい作品展

「ゆうあい作品展」は、松江市の小・中学校特別支援学級、特別支援幼児教室、そして特別支援学校で学ぶ幼児・児童・生徒の日頃の学習成果を発表する場です。今年で20回目を迎える作品展は、2月11日(水)～16日(月)まで鳥根県立美術館ギャラリーにおいて開催されました。

2月14日(土)にゆうあい作品展を観に行きました。第四中学校のスペースには、力強く書かれた書初め、ていねいに縫い合わせたタペストリー、そして色紙を丸めたり伸ばしたりして表現した絵画作品など、四葉学級のみなさんの日頃の頑張りが伝わってくるすばらしい作品がたくさん展示されていて感心しました。



学業成就米をいただきました

1月23日(金)、鳥根県農業協同組合様(JA津田支店長様)より、受験に向かう中学3年生のために「学業成就米」を贈呈していただきました。大切な節目に向けて受験生を応援していただき、本当にありがとうございました。



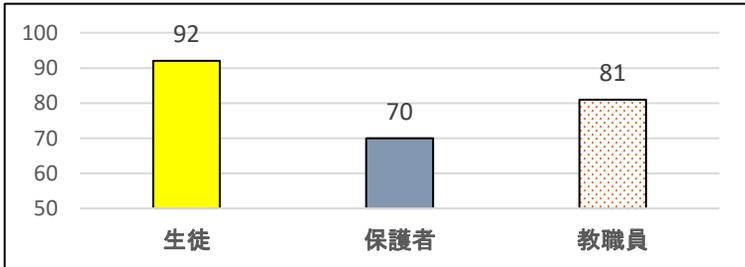
令和7年度 学校評価結果から

昨年12月に、生徒、保護者の皆様及び教職員を対象とした学校評価アンケートを実施しました。そのアンケート集計結果をもとに、今年度の振り返りと来年度の取組について教職員で話し合い等を重ねています。今年度の調査結果については、2月17日開催された学校運営協議会委員へお伝えし、たくさんのご意見やご質問をいただいたところです。

今回のアンケート結果について、主な項目をいくつかピックアップし、肯定的な意見の割合と分析や対応方針等についてご紹介します。(※グラフ右の□欄が学校の分析と対応方針)

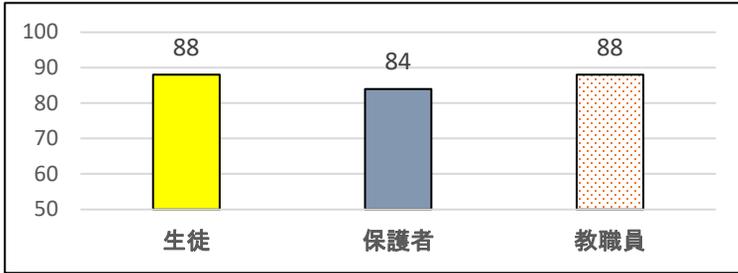
学校経営の重点内容1〇どの子も参加できる、参加したくなる授業づくり。

「学校は、子どもの意欲を引き出す授業の工夫をしていると思う」に肯定的な意見の割合



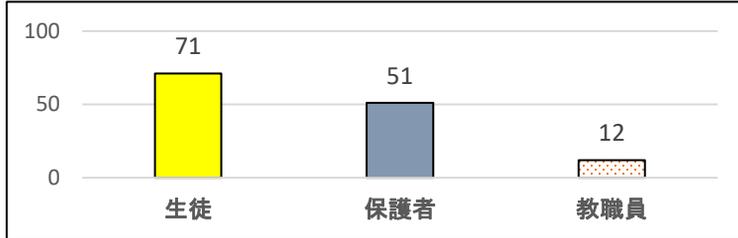
生徒の授業への取組に対する意識は高い。しかし、学力調査やテストの結果等で学力の定着が伴っていないと感じる保護者が一定数おり、それが生徒と保護者の数値の差となっている。生徒の意欲をさらに高める工夫や授業規律の確保など、より一層の授業改善に取り組む必要があると考える。

学校経営の重点内容2 ○学校行事、生徒会活動、部活動等を通じた学習集団づくりと自己有用感の育成
 「学校は、子どもが主体的に取り組む行事、活動を行っていると思う」に肯定的な意見の割合



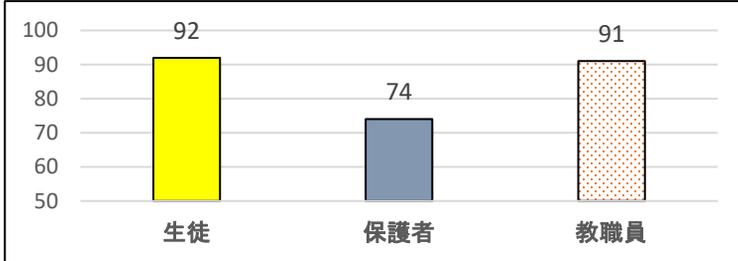
学校行事を通して生徒が活躍する場面を多く見ることができた。また、生徒会を中心に生徒が中心となった企画や行事、場の設定が計画され、生徒が成果を感じることでできる活動となった。生徒会を中心とした自治的活動を推進しながらリーダーの育成や集団づくりにつなげていきたい。

学校経営の重点内容3 ○自立と自律をめざし、チーム対応を意識した生徒指導・進路指導の実践
 「子どもは、自分の決めたメディアルールを守っていると思う」に肯定的な意見の割合



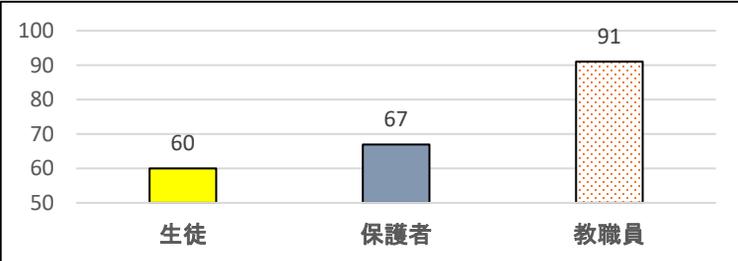
生徒、保護者、教職員の認識が大きく異なっている。便利で楽しいアイテムではあるが、その便利さや楽しさゆえに自らの行動が制御できにくい環境に身を置いている生徒が多いと考える。生徒の情報モラルやトラブル防止の観点からも専門的知見に基づいた指導と保護者への啓発が必要である。

学校経営の重点内容4 ○人権教育・道徳教育の推進
 「学校には、子どもの相談にのってくれる大人がいると思う」に肯定的な意見の割合



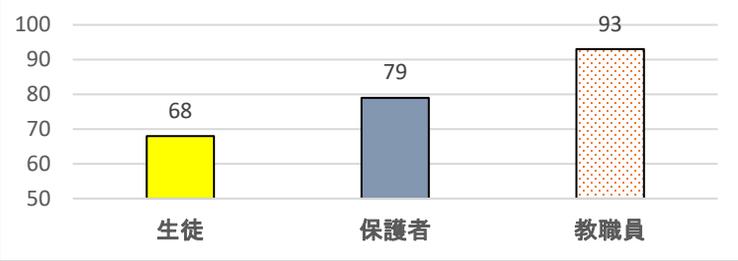
生活ノートやアンケート調査等を利用して、生徒の困り感をいち早く察知し、対応する教職員体制が生徒の安心感につながっていると考える。今後は、このことを保護者の方々にどのような方法で情報提供をしていくかが課題の一つと考える。

学校経営の重点内容5 ○豊かな心を育むための、体験活動や学び合う活動の充実
 「子どもは、地域へ出かけて体験やボランティア活動に取り組んでいると思う」に肯定的な意見の割合



学校地域コーディネーターには、公民館活動や地域とのかかわりの架け橋となっていていただいている。今後も継続して地域と生徒をつないでいただくとともに、生徒への啓発をさらにすすめながら、教職員も積極的に参画できるよう取り組みたい。

学校経営の重点内容6 ○保護者・地域との連携強化
 「学校は『地域の人、もの、こと』を活用した取組を実践していると思う」に肯定的な意見の割合



あらゆる場面で地域の方々からの支援をいただいていることは生徒、保護者、教職員ともに実感できている。そのことを学びにつなげられるようなアプローチを工夫していくこと、また、地域から見た四中生についても生徒へ紹介する機会をつくらしていきたい。

学校運営協議会各委員からの意見（主なもの）

- 授業や活動においてタブレットの利用がさらに高まるよう、教職員研修を充実させるなど取組を進めていく必要がある。
- 学校へ行くのは楽しいと回答した生徒が多いことは良いことである。一方で、子どもから保護者への情報が少ないことが保護者の不安となり、低い値になっているのかもしれない。親から子へ話しかけるなど会話も大切だと考える。
- 各家庭でメディアルールを話し合うことも大切である。自分で利用時間をコントロールできる力を身に付けてほしい。
- 生徒にとって相談にのってくれる大人が学校にたくさんいると感じられることは、とても良いことである。
- 道徳心について考えることは大切である。普段から自分がされたらどう思うかということをしかりと考え行動してほしい。
- 地域での活動を通して、思いやりの心、周りの人のことを考える力など人と人とのつながりを理解できるよう支援したい。
- ボランティア活動は人に喜んでもらえることが自分への喜びにつながる。生徒自身が楽しめる活動につなげていきたい。